

【プロジェクト4】

住民主体のまちづくりの展開

本地区には歴史・文化的な資源や個性豊かな店舗、落ち着いた住宅地など、魅力的な地域資源が多く集積しています。

これらの資源を活用し、地区に関わる様々な地域団体・個人・企業等がまちづくりの担い手となって、地域の価値や魅力を維持・向上させる取組が極めて重要になります。

駅前広場の再整備などテーマ別のまちづくりを実践しながら、地域を支える新たなプラットフォーム^{※1}を構築し、エリアマネジメント^{※2}活動へと取組を進めます。

まちづくりの推進とまちづくり組織のイメージ



○プロジェクトの内容

- ① 地域を支えるプラットフォームを構築する

○実現に向けた取組

「祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会」の参加者やまちづくりに関心のある新たな参加者による地域を支えるまちづくりのプラットフォームを構築し、エリアマネジメント活動へとつなげていきます。



※1 プラットフォーム：本地区に係わる人や情報が集まり、実践的なまちづくりを推進する組織

※2 エリアマネジメント：特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営を行う取組

【整備スケジュール】

■ : ハード事業 ○ : ソフト事業

	施策の内容	取組主体	年度						
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
① 地域を支えるプラットフォームを構築する	○まちづくりに関するプラットフォームの構築	区 民間事業者 区民	懇談会を基本としたまちづくり 新たな組織検討 活動 区の支援						
	○地域主体のエリアマネジメント活動	民間事業者 区民	エリアマネジメントの活動						
	○地元組織の活動の推進、支援	民間事業者 区民	取組の継続						
	○まちづくり組織と活動の継続	民間事業者 区民	活動の継続						
	○町会・自治会、住区住民会議、商店会などとの連携強化(再掲)	区 民間事業者 交通事業者 区民	取組の継続						

第4章 整備計画の実現に向けて

1 整備の進め方

「第3章 整備計画」の各プロジェクトで示した整備スケジュールに基づき、具体的な取組を進めていきます。

整備計画の具体化にあたっては地域を支える新たなプラットフォームを中心とし、関係住民等にご意見を伺うとともに、警察や交通事業者など関係機関との調整・協議を行います。

2 整備計画の進行管理

整備計画に定めた施策を確実に推進していくため、PDCAサイクルにより進行管理を行います。新型コロナウイルス感染症に対する対応など社会経済情勢の変化やまちづくりの機運、施策の進捗状況を点検し、必要に応じて計画の見直しを行います。

整備計画の進行管理イメージ

